

①学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

ア) 教科書の「野原はうたう（P14～P17）」を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

イ) 教科書の「季節のしおり」（P35）を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

<取り組み方>

ア) について

① 四つの詩を音読し、好きな詩（印象に残った詩）を一つ選ぼう。

② 詩から受けた印象にふさわしい音読の仕方について考えをまとめてみよう。

・詩から受けた印象は、どのようなものだろうか。

（明るい、暗い、元気だ、優しい、希望を感じる、落ち着く感じがする など、自分が感じたことを素直に表現してみよう。）

・詩の設定上の作者（たんぽぽ はるか、かまきり りゅうじ、のぎく みちこ、けやき だいさく）はどのような人だと想像したか。

（年齢、性格などを考えてみよう。）

・読む速さや声の強さ、言葉の調子を工夫して音読しよう。

③ 選んだ詩の好きな（印象に残った）ところと理由について、家の人に伝えよう。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

イ) について

① 二つの詩を音読してみよう。

② 二つの詩の好きなところ（印象に残ったところ）について簡単にまとめ、家の人に伝えよう。

・どのような点に春を感じた詩なのだろうか。

・どのような景色が思い浮かぶだろうか。

※①～②に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※②について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

<内容>

日本と世界各地の位置関係はどのようになっているのだろうか。また、世界各地との時差はどのように求めるのだろうか？取組シートやノートにそれぞれまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1) もし、「日本は地球上のどこに位置しますか？」と質問されたら、あなたはどのように表現しますか。いくつかの方法で説明してみましよう。
- (2) イギリスのロンドンと東京の時差は、9時間です。なぜ9時間になるのか、教科書P127の本文を参考に説明してみましよう。
※教科書P127の「地理にアプローチ」の問題にも挑戦してみましよう。

<学習のヒント>

- (1) 教科書は、P126を参考にしよう。大きく分けて、2種類の表現のしかたがあります。
- (2) 教科書のP126～P127を参考にしながら、次のステップで進めていこう。
 - ① 経度が何度ずれると、1時間の時差が生じるだろうか。
 - ② ロンドンと東京の経度差は何度だろうか？地図帳などを用いて調べよう。
 - ③ 経度差を①でもとめた数で割ると時差が求められます。⇒①～③のステップを踏まえ、ロンドンと東京の時差が9時間であることを改めて自分の言葉で取組シートやノートにそれぞれまとめてみよう。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【数学】

<内容>

数直線を基にして、減法の計算の仕方について考えてみよう。

～加法と減法にはどんなつながりがあるかな？～

<取り組み方>

- ① 加法の式 $(+2) + (\square) = +5$ の \square に当てはまる数を求める式を考えよう。
- ② 数直線を使って、 $(+5) - (+2)$ の計算の仕方を考え、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ③ どの2数の減法でも②と同じように求めることができるか、いろいろな減法の式をつかって、数直線を使って計算してみよう。
- ④ 教科書 P28 の Q に取り組み、その結果から気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。

<学習のヒント>

- ① 小学校では、ひき算はたし算の逆であると学んだことを思い出してみよう。中学校では、ひき算のことを減法といいます。
- ② 前回学習した加法の計算を数直線に表す方法を思い出して、<取り組み方>の①の式を数直線に表してみよう。 \square の部分が減法の計算の結果になります。
数直線への表し方に困ったときは、教科書 P27 の説明を読み、+5 にたどり着くには、2 回目の移動をどちらにどれだけ動けばよいかを考えてみよう。
- ③ 2 数の符号の組み合わせ（同符号や異符号）のパターンをいろいろ変えて数直線を使って計算してみよう。
どんな式をつくれればよいか困ったときは、教科書 P27 の問 3 を考えてみよう。
どのように考えればよいか困ったときは、教科書 P27 の例 1、例 2 を参考に考えてみよう。
- ④ 減法の式と加法の式を見比べて見て、変化しているところがどこか考えてみよう。

数学では、正しい答えを出すことも大切ですが、**方法を考えたり、きまりに気付いたりすることがとても大切**です。

【理科】

<内容>

◆^{きんぞく}金属と^{ひきんぞく}非金属を区別するにはどうしたらよいか考えよう。

<取り組み方>

- ① 身の回りにある物体を金属と非金属に分けてみましょう。
- ② ①において、どのような理由で区別したのかを書き出してみましょう。
- ③ 金属の種類を調べ、身の回りのどのようなものに使われているのかを書き出してみましょう。

<学習のヒント>

- ・金属が共通してもっている性質に注目してみましょう。
- ・金属にはどのような種類があるのかを、教科書やインターネット、資料集などで調べてみましょう。

【英語】

<内容>

- ・教科書 P6～P7「新しい友だちをつくろう」の①～⑥のそれぞれの場面の絵を見て取り組みましょう。
- ・教科書 P12「英語を聞いてみよう・使ってみよう」の①「好き？」の写真を見て、ALTの先生の質問に答えてみましょう。

<取り組み方> 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★動画を見ながら取り組む課題です。

- (1) 教科書 P6～P7 の絵は、学校生活の様子です。

ALT の先生が話す、A～F の英語を聞いて、その英語に合う場面を①～⑥から選び、指さしましょう。



- (2) 次は、①～⑥まで順番に、それぞれの場面に合わせて、ALT の先生と英語でやりとりしてみましょう。小学校で学習した表現を思い出しながら、答えてみましょう。

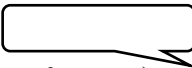
- (3) 教科書 P12 の①「好き？」の写真を見て、ALT の先生の質問に答えましょう。

(例) ALT の先生 : Do you like chicken?

あなた : Yes, I do. / No, I don't.

★動画を見ないで取り組むことができる課題です。

- (1) 教科書 P6～P7 の絵は、学校生活の様子です。①～⑥のそれぞれの場面の絵を見て、教科書の下にある「いろいろなあいさつ」の英語を読んでみましょう。

- (2) 次は、①～⑥までの  (ふきだし) の部分にどんな英語が入るかを考えて、声に出して言ってみましょう。小学校で学習した表現を思い出しながらか、答えてみましょう。

- (3) 教科書 P12 の①「好き？」の写真を見て、「バスケットボール・アイスクリーム・音楽・水泳・オレンジジュース」について、自分が好きかどうか、英語で声に出して言ってみましょう。

(例) **I like ice cream.**

I like basketball, but I don't like swimming.

※QRコードがうまく読み取れない場合は、札幌市教育委員会ホームページの「臨時休業中の学習課題」のページから動画をご覧ください。